



# [teeta]

44



公益財団法人  
北海道埋蔵文化財センターだより

- 北海道屈指の「縄文集落」が数多く残される  
津軽海峡沿岸での発掘調査…………… 2
- 令和元年度の発掘調査（令和元年度後半）…………… 4
- 令和元（平成31）年度発掘調査一覧…………… 4
- 令和2年度発掘調査予定一覧…………… 4

「テエタ」はアイヌ語で“昔”を意味します。北の大地で繰り広げられた昔の人々の文化や環境を、現在と未来の人々に伝えるのが私たちの仕事です。昔のこと、古いことを広く知ってほしいという願いを込めて「テエタ」をこの冊子のタイトルにしました。



木古内町幸連5遺跡 多量の炭化した「むき栗」が出土した土坑（縄文時代前期後半（約4,700年前））

## 表紙解説

写真は、多量の炭化した「むき栗」（クリの子葉部分）がフラスコ状土坑の覆土から出土した様子です。土坑を埋め戻す途中で入れたらしく、山なりにうすく堆積していました。右下写真のように「むき栗」の形を保っているものも多く、幅9～19mmほどの大きさのものが出土しています。表面にしわが見えることから、果皮を剥いて乾燥させたものをわざわざ炭にして入れたようです。ここでは、ほかにも炭化した「むき栗」が出土する遺構が見つまっていることから、クリが盛んに利用されたと考えられます。





【北斗市押上1遺跡の調査風景】

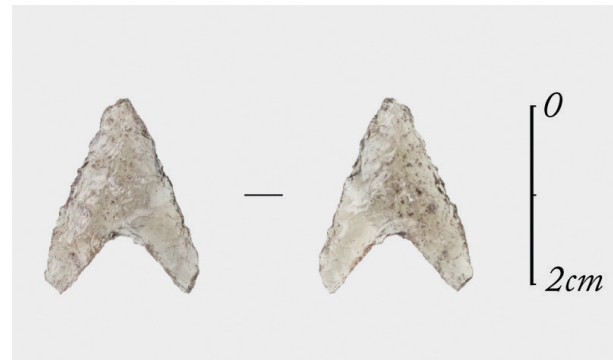
ようになります。北斗市押上1遺跡ではその変遷がみられました。当初は中期以来の掘り込みの深いしっかりとした竪穴住居が、削平部を挟んで対に配置されますが、次第に掘り込みの浅い住居を散在させる配置に変化しました。この変化は環境変動に対応したものと考えられ、クリの育成のあり方も変わっていったのかもしれませんが。

集落が散在する縄文時代後期前葉には、墓や「盛土遺構」を集約する必要があったか、独特な遺跡が残されるようになります。北斗市館野遺跡はその代表格で、削平した広場の外側に、配石（ストーンサークル）と「盛土遺構」を巡らせて、大規模な同心円状遺構群が残されました。配石と「盛土遺構」間には墓群と掘立柱建物群が配置されました。「盛土遺構」からは盛んな儀礼を想定させる円盤状石製品が多量に出土しました。この遺跡も縄文時代中期中葉～後葉までは、中規模な集落遺跡が継続していました。それが後期前葉になって、少し位置をずらして小規模な集落が形成されました。独特な遺構群は、その小規模な集落を覆うように残されたものです。



【北斗市館野遺跡の調査風景】

縄文時代前期後半～後期前葉の北海道島南部では、東北地方の影響を受けながらも、独自の暮らし方が追求さ



【福島町館崎遺跡出土長野県産黒曜石製石鏃】

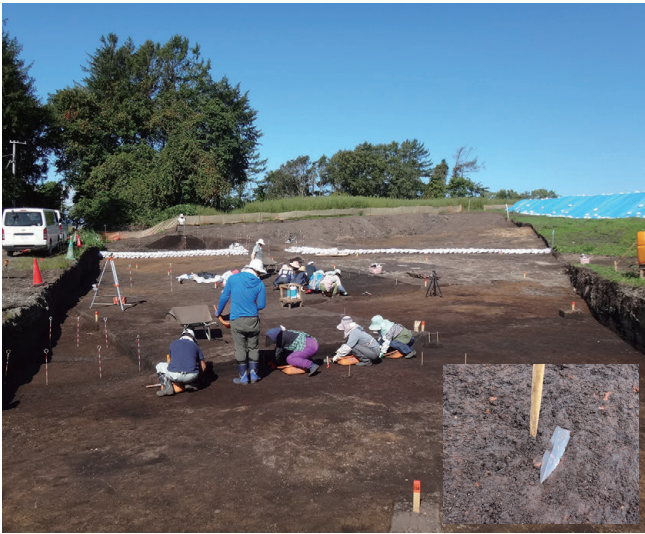
れました。特に津軽海峡沿岸では、千年以上継続する遺跡が残され、多量の土器・石器や住居跡が発見されるなど、当時の北海道で一番豊かに暮らしていたと考えられます。その背景には、津軽海峡の豊かな海の幸とともにクリの育成の盛行が影響したようです。また、海峡を挟んで、ヒスイやアオトラ石、黒曜石、アスファルトなど様々な資源のやり取りも影響したと考えられます。

目を引く発掘調査成果は、新聞やTVなどで取り上げられました。しかし、その内容は多様で豊富な成果のごく一部でしかありません。遺跡調査成果は、詳しくみていくと当時の人々の暮らし、さらにその変遷を知ることができます。暮らしの変遷を知るとは、過去の人々が、その地域の環境変動や災害とどのように向き合ってきたかを知ることになります。実は、遺跡の調査成果を詳しく検討をすればするほどに、現代生活にも役立てられるものなのです。

私たちは、発掘調査報告書という形で、調査成果を残します。また、広く皆さんに成果をお伝えするために、この広報誌テエタ刊行や遺跡調査報告会を行っております。さらに今後は、得られた成果を活用していただけるよう活動していけたらと思っております。

(第1調査部第2調査課主査 福井 淳一)

## ○令和元年度の発掘調査（令和元年度後半）

ながぬま  
○長沼町16区F遺跡

沢地形の調査と石刃鏃の出土状況

遺跡は長沼町市街から東南東側へ約3.0Km、馬追丘陵丘端部の標高15～20mの緩斜面に立地し、加賀川右岸の低位段丘に面しています。

遺跡内には水の流れた跡と考えられる沢状の地形がありました。その沢地形には水で押し流されて堆積した樽前d降下軽石（Ta-d）の二次堆積層があり、その中から石刃鏃2点が少量の礫とともに出土しました。

石刃鏃は主に道東北の縄文時代早期後半（6,500年前頃）にみられる特徴的な石鏃で、長沼町周辺と道東北地域の交流がうかがわれます。

## ○令和元（平成31）年度発掘調査一覧

事業者	事業名	市町村	遺跡名	面積（㎡）	備考
国土交通省 北海道開発局	札幌開発建設部	長沼南幌道路工事	長沼町	16区F	1,360
	函館開発建設部	高規格幹線道路函館江差自動車道	木古内町	幸連5	1,622
その他	東日本高速道路株式会社 北海道支社	苫小牧中央IC雪水管理施設設置工事	苫小牧市	高丘8	1,600
合計				4,582	

## ○令和2年度発掘調査予定一覧

事業者	事業名	市町村	遺跡名	面積（㎡）	備考
国土交通省 北海道開発局	札幌開発建設部	長沼南幌道路工事	長沼町	16区F	333
北海道	釧路総合振興局	根室半島線改良工事	根室市	トーサムボロ湖 周辺竪穴群	1,267
その他	独立行政法人鉄道建設・ 運輸施設設備支援機構	北海道新幹線建設事業	長万部町	共立2遺跡	4,200
				豊野4遺跡	320
合計				6,120	



## ◆交通案内◆

- ・JR大麻駅から、徒歩約20分
- ・新さっぽろバスターミナル発
  - ・JRバス（文京台線循環新83）・夕鉄バス（文教通西）に乗車「くりの木公園前」下車、徒歩5分
  - ・JRバス・夕鉄バス（江別方面行き）に乗車「北翔大・札学院大前」下車、徒歩15分